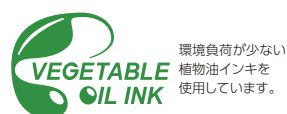


住江織物グループ CSRレポート 2018

住江織物株式会社

本書に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 CSR推進室
〒542-8504 大阪市中央区南船場3-11-20
TEL:06-6251-6817 FAX:06-6251-6806
E-Mail:csr@sin.suminoe.co.jp
URL <http://suminoe.jp/>



印刷工程で有害廃液を出さず、湿し水が不要な「水なし印刷方式」を採用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



豊かな暮らしと 社会への貢献を目指し、 CSR活動を推進してまいります。

住江織物グループの事業活動は、明治時代に手織のささやかな家内工場から始まりました。創業者の良質なモノづくりにこだわった熱心さと志を引継ぎ、社会の課題やニーズに誠実に応えていくことによって、豊かな暮らしと社会の創造に貢献してまいります。

住江織物グループのCSR^{※1}

会社の目的

よい製品を生産し、販売し、
社業の隆盛をはかり
社会の向上に貢献する。

社訓

業界の先駆者としての
誇りをもち、和協、誠実、
不屈の精神をつらぬく。

企業行動規範

1
法令その他の社会的規範を
遵守し、公正で健全な
企業活動を行います。

2
よい製品を生産し、販売し、
社会の向上に貢献します。

3
従業員の人格と
健康・安全に配慮し、
従業員を公正に処遇します。

4
ステークホルダー（利害関係人）
との関係を尊重します。

5
良き「企業市民」として
積極的に地域社会に
貢献します。

6
地球環境への影響を重視し、
環境保全に取り組みます。

CSR活動方針

住江織物グループでは、
「事業を通じたCSR」と
「経営の土台となるCSR」を
両輪として、
更なる企業価値の向上、
広く社会からの信頼を
得ることを目指し、
活動の方針を
次の通り掲げます。

事業を通じたCSR

- KKR+A（健康・環境・リサイクル＋アメニティ）を中心とした、地球環境・社会に貢献し、人々の暮らしや気持ちを豊かにする商品を提供する。
- グローバル戦略を推進し、当社の製品が多くの人々にご使用いただくこと、KKR+Aを世界各地に広げていくことを目指す。

経営の土台となるCSR

- 公正で透明性の高いガバナンス体制を確立する。
- コンプライアンス^{※2}（法令遵守）を徹底し、高い倫理観をもって企業活動を行う。
- 従業員の働きやすさ・多様性に配慮するとともに、価値ある仕事を通じて成長することを支援する。

私たちはCSR活動方針に基づき、以下の通り価値を提供していくことで、ステークホルダー（利害関係人）の皆様との良好な関係を構築するとともに、地球環境に寄与し次世代への責任を果たしてまいります。

主なステークホルダー	お客様	お客様の声に真摯に向き合い誠実な対応を心掛けます。お客様とともに快適な空間を作り上げることが私たちの喜びとし、信頼を得ることを目指します。また、品質向上の取り組みを推進してまいります。
	お取引先様	お取引先様との関係を大切にし、共にお客様への対応力の向上を目指していきます。価格・品質・納期など合理的な基準によって選定を行い、公正で対等な取引に努めます。
	株主・投資家の皆様	適正な利益の確保により、株主・投資家の皆様へ還元することを目指してまいります。IR活動により、積極的な情報開示を進めてまいります。
	地域社会の皆様	各国、また地域社会との交流を深め、文化・歴史を理解するとともに、社会貢献活動を行ってまいります。
従業員	従業員	従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、働きやすい職場環境を整備してまいります。また、能力を最大限に発揮し、課題を解決していこうという従業員の想いに応えてまいります。
	地球環境	地球環境の維持と改善の一助となる魅力的な環境商品・技術を生み出すことに力を注ぎます。また、事業活動を通じ環境負荷低減活動（省エネルギー、省資源、廃棄物削減など）に努めてまいります。

※1 CSR：Corporate Social Responsibilityの略称で、「企業の社会的責任」と訳される。

※2 コンプライアンス：企業が法律や企業倫理を遵守した判断や行動をし、社会からの期待や信頼に応えること。

135年の伝統と技術とともに、新しい分野へ挑戦します。



〈はじめに〉

平成最後の年は、天災が多い1年となりました。大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風第21号および北海道胆振東部地震により、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。明治16年に創業した当社は、皆様に支えられ、これまで天災や世界大戦、経済危機など、数々の苦難を乗り越えてまいりましたが、改めて災害に対するリスク管理の重要性を認識しております。当社は、以前より、安否・被災状況などの情報収集を重視したBCP行動計画を策定しており、社内緊急連絡ルールに従って安否確認訓練を実施しております。災害発生時、従業員とその家族の身の安全を確認すると同時に、お客様への迅速で正確な情報発信ができるよう、グループ全体で対策の強化に取り組んでまいります。

〈第5次中期3ヵ年経営計画「2020」〉

当社は、「企業ガバナンスの再構築」と「事業の成長」という2つのテーマのもと、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」を2017年6月よりスタートいたしました。

●「企業ガバナンスの再構築」

経営幹部と従業員が情報共有し、双方向コミュニケーションを図りながら一体となって諸問題の解決にあたる体制づくりを最も重視しております。誰もが同じ目線で課題を把握できるよう、「週報」・「月報」を全社統一フォーマットにし、また経営幹部が各現場に赴き、従業員と直接意見交換を行う「歩き回る経営」を実践しております。併せて「働きやすさアンケート」や「中堅社員による職場環境改善プロジェクト」などを実施しており、より風通しの良い企業風土の醸

成に取り組んでおります。また、収支や在庫といった情報をタイムリーに把握し、経営判断に活かせるよう、グローバルで基幹システムの再構築を進めております。

●「事業の成長」

「取扱い商材の拡大」「グローバル化の強化」「高付加価値商材の開発・販売」を軸に、カーペットと自動車・車両向けシート地の製造・販売をコア事業に据え、新規商材の開発や積極的な海外展開を図っております。「グローバル化の強化」の施策としては、2018年4月にタイ・チェンマイにて、カーマット製造事業を開始いたしました。自動車内装事業では、現在6ヵ国12ヵ所に拠点を設けており、今後もグローバルで最適な供給体制を構築し、国際競争力を強化してまいります。

〈環境への取り組みについて〉

1980年、当社が初めて世に出した国産タイルカーペットは、当時としては画期的な商品として注目を集め、オフィスなどで広く利用されるようになりました。発売当初は、タイルカーペットの裏材にアスファルトを使用しておりましたが、その後、技術の進歩に伴い、ポリ塩化ビニルを使用した商品が登場、現在のタイルカーペットの主流となりました。しかしながら、使用済みタイルカーペットは埋め立て処分する他なく、世界的な環境意識の高まりを背景に、当社はより環境にやさしい商品の開発に取り組んでまいりました。

2011年、試行錯誤の末、独自技術による水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」をリリースいたしました。ECOS®は、裏材に使用済みタイルカーペットを再資源化したポリ塩化ビニルのリサイクルパウダーを使用

し、世界でも類を見ない、最大84%という高い再生材比率を達成しながら、コストは従来品と変わらず、デザイン面でも高い評価をいただいております。

同一商品内で「生産→使用→再生」を繰り返す、クローズド・ループ・システムを確立する、そうしたメーカーとしての「つくる責任」を果たすため、これからも「K（健康）K（環境）R（リサイクル）+A（アメニティ：快適さ）」を開発理念として、チャレンジしてまいります。

〈伝統とチャレンジ〉

当社グループは、日本のインテリアのパイオニアメーカーとして、「空間を彩り、質の高い生活を提供すること」で、創業以来135年にわたって事業を続けてまいりました。昨今では、さらなるグローバル展開や、浴室向けオレフィン系床材をはじめとした非繊維分野への事業拡大にも積極的に取り組んでおります。

新しい領域へと飛躍を続ける一方で、当社は現在でも国会議事堂や迎賓館といった日本の伝統工芸美術の粋が集まる建築物に、手織り絨毯などの美術織物を納めております。当社の祖業であり、また日本の歴史的産業でもあるこの伝統技術を守り、育んでいくことは、当社による文化への貢献と考えております。

今後も、持続可能な社会の実現にとって必要とされる企業であり続けられるよう、住江織物グループは邁進してまいります。

2018年12月

住江織物株式会社
代表取締役会長兼社長

吉川 一三